

# 鉄と鋼

Journal

Japan



## 主 要 目 次

高炉溶融スラグ顕熱総合回収技術の開発	1587
合金めっき膜の結晶学的構造と熱平衡状態図との関連性	1597
相変態の臨界現象とフラクタル	1607
結晶成長とフラクタル	1613
粒子の化学的安定性からみた粒子分散強化型複合材料	1623
歯科および医科領域に用いられるチタン合金	1633
CaO 成分分割造粒による焼結鉍製造操業の改善	1642
CaO-CaCl <sub>2</sub> 二元系溶融フラックスのサルファイドキャパシティー	1650
LiCl-KCl 共晶溶融塩中における Ti 電解の電極反応	1656
CaO-BaO-CaF <sub>2</sub> -SiO <sub>2</sub> 系および CaO-Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 系 フラックス中りんの熱力学	1664
溶融アルミネート中への水蒸気の溶解	1672
ガラス-結晶法による塩化鉄焙焼酸化鉄の高純度化	1680
$\alpha$ -Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 結晶-Na <sub>2</sub> O <sub>3</sub> -B <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 系融体間のマンガン分配	1688
波数ベクトルに平行な直流磁場の印加下での溶融金属波動の 減衰挙動	1696
大型バックアップロールの軸キー溝の応力解析と形状の検討	1704
Ti-10V-2Fe-3Al 合金の力学的性質におよぼす加工熱処理条件 の影響	1712
2 元系 fcc 希薄合金の固溶強化と固溶限との相関	1720
Mo を含む準安定オーステナイト系ステンレス鋼の逆変態機構 と機械的性質	1728
酸化雰囲気において加熱した鉄鋼材料の分光放射率	1736
Nb-Ti 添加低炭素鋼の高温焼なまし後フェライト粒径に およぼす製造条件の影響	1743

NO. 10  
VOL. 76  
OCT. 1990

鉄鋼協会

and Steel Institute of Japan

n Kaikan, 9-4, Otemachi-1-Chome  
Chiyodaku, Tokyo, Japan